

石鎚山系のグレーディング マトリクス ~無雪期・天気良好時の「登山ルート別 難易度評価」~

		A	B	C	D	E
2 3泊 以上が 適当 1 2泊 以上が 適当 1泊 以上が 適当 日 帰 り が 可 能 1 体力 度 難 易 度	10					
	9					
	8		31 笹ヶ峰→野地峰 縦 ▲			
	7					
	6					
	5		3 石鎚山<堂ヶ森> 4 石鎚山<今宮> 43 堂ヶ森・石鎚山 縦 ▲	11 石鎚山<堂ヶ森・天狗岳>		
	4		9 石鎚山<天柱石> 縦 12 石鎚山→瓶ヶ森 縦 ▲ 21 瓶ヶ森→笹ヶ峰 縦 ▲ 30 笹ヶ峰<平家平・冠山> 35 皿ヶ嶺→石墨山 縦 ▲	8 石鎚山<十字分岐・御塔谷・夜明峠> 周 17 面河溪・石鎚山 縦 ▲ 19 瓶ヶ森 周 20 瓶ヶ森<瓶ヶ森男山> 縦	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>▲ YAMAP とは</p> <p>日本最大の登山・アウトドアコミュニティであり、電波が届かない山の中でも使用することができるオフラインGPS地図アプリです。お持ちのスマートフォンからアプリをダウンロード後、アカウントを作成すれば無料で使用可能です。▲のマークのあるルートはアプリ地図上にもご紹介しているためログイン後にスタート画面より「石鎚山」で検索、地図をダウンロード後にルート選択可能（詳細裏面参照）となります。</p> <p>iphone でも android でも使える アプリのダウンロードは こちらより。</p>  <p><small>※電波が届かなくても地図閲覧は可能ですが、アプリおよび地図は電波のある環境での事前ダウンロードをお願いいたします。</small></p> </div>	
	3		5 石鎚山 23 瓶ヶ森女山 25 寒風山・笹ヶ峰 縦 ▲ 28 笹ヶ峰<寒風山> 38 手箱山 42 堂ヶ森 48 平家平→寒風山 縦 ▲ 49 三ツ森山<三ツ森峠>	10 石鎚山<御塔谷・夜明峠> 周 (崩落のため通行止め) 39 手箱山<筒上山> 40 手箱山・筒上山 縦 ▲		
	2	16 大座礼山 ▲ 33 皿ヶ嶺 34 皿ヶ嶺<六部堂越> 46 平家平 47 平家平	1 石墨山 2 石墨山 6 石鎚山 縦 7 石鎚山 ▲ 13 伊予富士 ▲ 24 寒風山 26 冠山<平家平> ▲ 27 黒森山<西山越・沓掛山> ▲ 29 笹ヶ峰 37 手箱山 縦 41 堂ヶ森 ▲ 45 東光森山 ▲ 50 三ツ森山<三ツ森峠> ▲	36 筒上山<手箱越> 周		
	1	15 岩黒山 18 瓶ヶ森 周 ▲ 22 瓶ヶ森女山 32 皿ヶ嶺 44 野地峰 ▲	14 伊予富士			

▲ YAMAP とは

日本最大の登山・アウトドアコミュニティであり、電波が届かない山の中でも使用することができるオフラインGPS地図アプリです。お持ちのスマートフォンからアプリをダウンロード後、アカウントを作成すれば無料で使用可能です。▲のマークのあるルートはアプリ地図上にもご紹介しているためログイン後にスタート画面より「石鎚山」で検索、地図をダウンロード後にルート選択可能（詳細裏面参照）となります。

iphone でも
android でも使える
アプリのダウンロードは
こちらより。



※電波が届かなくても地図閲覧は可能ですが、アプリおよび地図は電波のある環境での事前ダウンロードをお願いいたします。

凡 例

() 登山口
<> 山名と登山口だけでは経路が特定できない場合の経由地
縦 入山口と下山口が異なる縦走ルート
→ 縦走の順
周 入山口と下山口は同じだが途中の経路が異なる周回ルート
数字 裏面「石鎚山系のグレーディング一覧表」の番号（五十音順）
▲ YAMAP アプリ 利用可能

スタート地点の表記

■ 愛媛県久万高原町 ■ 愛媛県西条市 ■ 高知県の町 ■ 高知県大川村

	A	B	C	D	E
登山道	◇概ね整備済 ◇転んだ場合でも転落・滑落の可能性は低い。 ◇道迷いの心配は少ない。	◇沢、崖、場所により雪渓などを通過 ◇急な登下降がある。 ◇道が分かりにくい所がある。 ◇転んだ場合の転落・滑落事故につながる場所がある。	◇ハシゴ・くさり場、また、場所により雪渓や渡渉箇所がある。 ◇ミスをするると転落・滑落などの事故になる場所がある。 ◇案内標識が不十分な箇所も含まれる。	◇厳しい岩稜や不安定なガレ場、ハシゴ・くさり場、藪漕ぎを必要とする箇所、場所により雪渓や渡渉箇所がある。 ◇手を使う急な登下降がある。 ◇ハシゴ・くさり場や案内標識などの人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い。	◇緊張を強いられる厳しい岩稜の登下降が続き、転落・滑落の危険箇所が連続する。 ◇深い藪漕ぎを必要とする箇所が連続する場合がある。
技術・能力	◇登山の装備が必要	◇登山経験が必要 ◇地図読み能力があることが望ましい。	◇地図読み能力、ハシゴ・くさり場などを通過できる身体能力が必要	◇地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ◇ルートファインディングの技術が必要	◇地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ◇ルートファインディングの技術、高度な判断力が必要 ◇登山者によってはロープを使わないと危険な場所もある。

(注) この表は、無雪期・天気良好の条件のもと、ルート固有の地形的な特徴について体力度と難易度を評価するものです。必要体力度については、鹿屋体育大学 山本正嘉教授の研究成果を元に評価しています。

ルート定数 = コースタイム (時間) × 1.8 + ルート全長 (km) × 0.3 + 累積登り標高差 (km) × 10.0 + 累積下り標高差 (km) × 0.6

- 使用上の注意**
- 1 実際の登山では、体力度、難易度以外に悪天候、残雪、体調、その他偶発的な要因による様々なリスクがあるので、それらにも配慮した計画を立てることが必要です。
 - 2 地震や崩落、雪崩などにより、登山道の通行規制や付け替えがありますので、登山の際には、事前に山小屋や近くの警察署などに登山道の状況等を確認することをお勧めします。
 - 3 いずれのランクにおいても、初めてそのランクを経験する場合には必ず経験者を同伴してください。
 - 4 この表に記載した登山ルートは、石鎚山系で比較的登山者が多いものから選定したもので、必ずしも登山を推奨する登山ルートではありません。整備・維持管理されていないものを含みます。また、登山ルートの通行や山頂への到達、通行上の安全を保証するものではありません。登山される際は、十分な準備のもと、自己責任において入山してください。記載のルートにおける事故について責任は負いかねます。
 - 5 入山の際は登山計画書を提出してください。

数字が大きくなるほど体力が必要

右になるほど難易度が増す